

団体名：特定非営利活動法人 フードバンク八王子えがお

活動地域：八王子市

助成額：49,957 円

ホームページ：<https://www.fb8egao.com/>

【当初の目的に対しての結果】

年末年始を含む冬季休業期間は、学齢期の子どもを育てる世帯にとって特に経済的負担が重い時期です。この時期に児童扶養手当や就学援助等を利用している世帯を優先対象として、食品を箱詰めして宅配便で送る「えがお冬の子ども応援プロジェクト 2024」に取り組みました。年末年始の食卓の役にも立ち、何より子どもたちのよりよい成長に寄り添える良質な食品を届けたい願いを込めた取り組みです。「未来につなぐ募金」による東都生協の商品助成は、まさにこの願いを叶える一助となっています。諸物価高騰の折から箱一杯の食品をそろえることが厳しく、特に価格の高いたんぱく質源の食品をそろえることが難しいなか、助成していただいた「北海道焼鮭あらほぐし無添加」は貴重で有難く、お届け世帯(150 世帯、家族人数 459 人、子どもの人数 259 人)にたいへん喜ばれました。また、食品配送後に返ってくるアンケート葉書からは、安心安全な食品の有難さと共に、募金などを通してエールを送ってくださる方々のお気持ちに励まされることがつづられていて、組合員の皆さまのエールが確かに届いていると感じます。

【組合員へのメッセージ】

「えがお子ども応援プロジェクト」は、学校の長期休みに合わせた夏冬の年2回の限られたプロジェクトですが、出費の多いこの時期に、日々の生活に応援が必要なご家庭に少しでも役立てていただければと願って取り組んでいます。夏冬の申し込み時(354 世帯)のアンケートでは、「母子世帯が 87%、父子世帯が 2%」でした。同じく「食料が買えないことが、頻繁にある 18.1%、時々ある 55.9%」、「子どものものが買えないことが、頻繁にある 50.3%、時々ある 46.3%」と回答がありました。私たちの力量では、残念ながら全ての申し込み世帯に届けることができず、特に冬のプロジェクトでは 38 世帯も選外とせざるを得ない実情に心が痛みました。今後もこのプロジェクトを心待ちにしている子どもたちに、そして応援が必要な子育て世帯(せめて夏冬合わせて 300 世帯)に、宅配箱を開けたときにほっとできる機会をお届けしたいと思います。諸物価高騰の中にあっても、組合員の方々が「未来につなぐ募金」へのご支援、ご協力を寄せてくださって有難くとても感謝しております。ありがとうございます。

【感想・意見・要望など】

フードバンク八王子えがおは、通常支援として八王子市在住で食に困っている個人世帯の他、協力団体と共にフードパントリーや相談会、施設、子ども食堂、市の生活自立支援課などに食品提供の支援を実施しています。その支援食品は協力団体のフードドライブや、個人・企業・団体の寄贈食品に依拠しております。一方夏冬の子ども応援プロジェクトの支援食品の品揃えは、主に募金(寄付金)による購入や協力団体・企業からの希望食品の寄贈によるものです。こうした「未来につなぐ募金」のような仕組みは、子どもたちのよりよい成長に寄り添える良質な食品を選定できる唯一の方法となっています。

